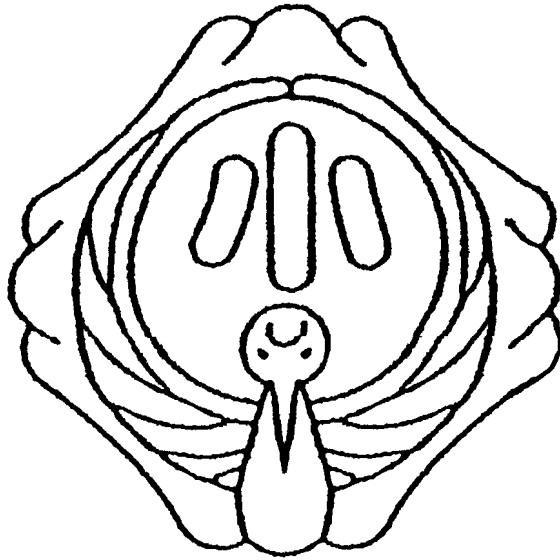


令和3年度

学校評価



横浜市立鶴ヶ峯小学校

このたび、保護者の皆様、地域の方々にご協力いただき、学校評価を実施いたしました。

今後は、皆様から寄せられた多くの声をこれからの本校の教育活動に活かし、より開かれた学校づくりを進めていきたいと考えております。

ここに学校評価の結果をご報告いたします。ご協力ありがとうございました。心より御礼申し上げます。

## ○実施にあたって

本校が力を入れて取り組んでいる下記の五つの柱を基に質問項目を設定し、保護者・児童に、アンケート形式で評価を実施しました。保護者の皆様には、家庭数で調査用紙を配布し、お答えいただきました。児童は、各クラスで担任がアンケートを行いました。

- ① 学ぶ楽しさと創り出す喜びを味わう子を育てます【知】
- ② 規範意識をもち、他者を尊重できる子を育てます【徳】
- ③ 自他の生命や健康を大切にできる子を育てます【体】
- ④ 地域に学び、地域に働きかけることができる子を育てます【公】
- ⑤ 様々な社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます【開】

## ○結果について

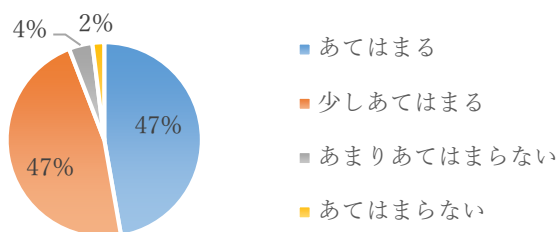
保護者・児童の結果は、質問項目ごとに数値をパーセンテージ（％）で表し、分析いたしました。いただいたご意見は今後の学校経営に活かしてまいります。

### 集計結果の見方

- A：あてはまる
- B：少しあてはまる
- C：あまりあてはまらない
- D：あてはまらない

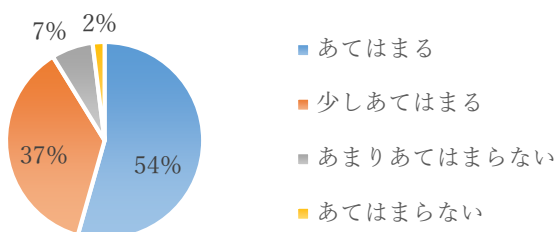
## 低学年（1～3年生）

めあてに向かって学習に取り組む  
ことができましたか。



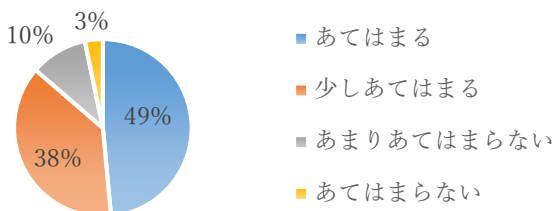
めあてに向かって学習に取り組むことができたと感じている児童が、昨年より11%増え、9割を超えました。学習活動の中で、児童に分かりやすいめあてを設定したり、自分でめあてを達成できた経験が増えたりしていることの表れだと考えています。「できていない」と感じている児童にも、課題に対して自らめあてを設定し、課題を解決していく力を育てるために、様々な授業や生活の中でめあてを意識して取り組んでいくことができるようにしていきます。

授業に集中して粘り強く  
取り組んでいますか。



「あてはまる」「すこしあてはまる」と答えた児童が9割を超えました。学校では、適切な課題設定を行い、児童が達成に向けて意欲的に取り組めるような授業を目指しています。低学年のうちに、集中して粘り強く取り組むことを身につけ、高学年になって学習が難しくなっても、しっかりと学習に向き合っていってほしいと考えています。9%の「あてはまらない」「すこしあてはまらない」と答えた児童には、児童の思いに寄り添い、よい方法を探しながら支援していきます。

授業で学んだことを身に付けようと  
努力できましたか。



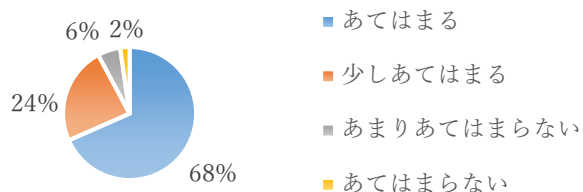
「あてはまる」「すこしあてはまる」と答えた児童が87%となりました。学校では、授業で学んで終わりにするだけでなく、学んだことを振り返ったり、知識の定着を図ったりする機会を作っています。これからも、分かる授業、楽しい授業をめざして実践していきながら、学んだことを身に付けようと努力できるよう、意識を高めていきます。また、13%の「あてはまらない」「すこしあてはまらない」と感じている児童に対しては、引き続き、個に応じた支援をしていきます。

授業の中で今まで学習したことを  
使って考えたり、友達の考えを聞いて自分の  
考えを広げたりすることができましたか。



8割を超える児童が、「あてはまる」「すこしあてはまる」と答えています。日頃の授業でも、話し合い活動を取り入れて、考えを伝えあっている成果だと考えられます。今後も、自分の考えをもつことの大切さを伝えるとともに、発表しやすい雰囲気づくりや、互いの考えを認め合える学級づくりに取り組んでいきます。

タブレット端末をすすんで使い、分からないことを調べたり、写真を撮って活用したりするなどして学習をすすめることができましたか。



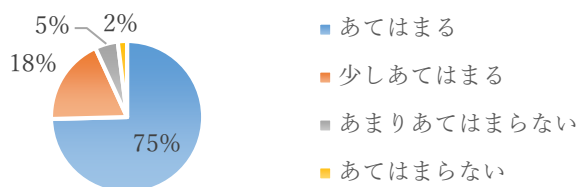
「あてはまる」「すこしあてはまる」と答えた児童が92%でした。多くの児童がタブレット端末を活用して学習を進めることができたと感じているようです。今年度は、分散登校の時期から、低学年でも積極的にタブレット端末を活用してきました。児童も使い方に慣れてきて、意欲的に学習に用いています。「あてはまらない」「すこしあてはまらない」と答えた8%の児童にも、タブレット端末と一緒に操作するなどしながら、活用できるように支援していきます。

クラスや学校のきまりを守って行動できていますか。



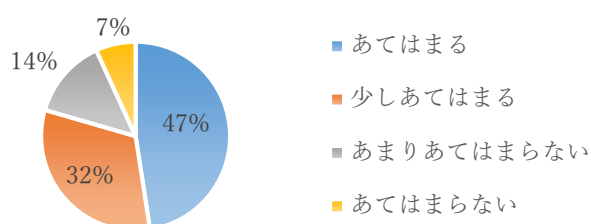
「あてはまる」「すこしあてはまる」と答えた児童が4%増え、きまりを守って行動することができていると考えている児童が9割を超えました。規範意識を根付かせるとともに、道徳の時間を活用したり、個別に話をしたりして、自分の行動をコントロールできるよう指導していきます。低学年のうちから、きまりの意義を理解し、しっかり守ろうとする意識を高めていきたいです。

ルールを守る大切さを教えてもらったことがありますか。



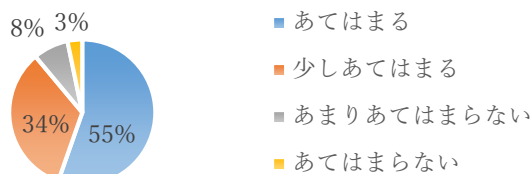
「ルールを守る大切さを教えてもらっている」と答えた児童が、昨年同様、9割を超えました。様々な場面をとらえ、ルールがある意味やルールを守る大切さを、分かりやすく伝えてきました。「教えてもらったことがない」と感じている7%の児童にも、伝わるようにさらに工夫しながら声をかけていきます。

困っていることがあったら誰かに相談できていますか。



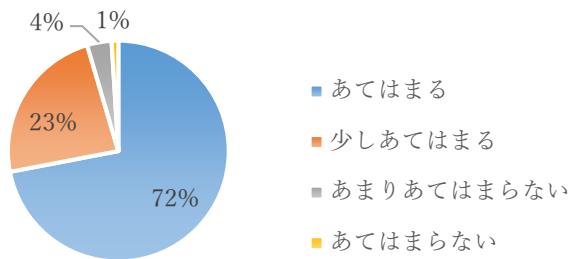
約8割の児童が、困っていることを誰かに相談することができています。引き続き、普段から相談しやすい人間関係や雰囲気をつくる工夫をしていきます。また、約2割の児童が「相談できない」と答えています。その原因を見極め、より一層児童理解に努めていきます。さらに、自分から相談することが難しい児童に対しては、日頃から目を向け、困っている様子がないかを気にしながら、声をかけるようにしていきます。

よく食べて、よく寝て、よく運動していますか。



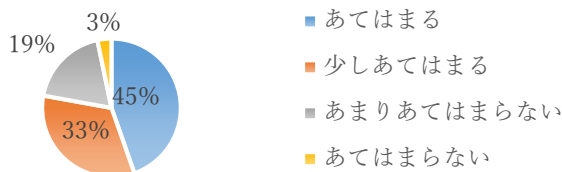
「あてはまる」「すこしあてはまる」と答えた児童が4%増え、全体として9割近くの児童が健康に気をつけて生活ができていると考えているようです。「早寝・早起き・朝ごはん」など、家庭生活に関わることを、ご家庭と協力して改善していきます。学校の生活でも、外遊びを促したり、栄養のバランスよく食べることを意識するよう声をかけたりして指導していきます。

先生や友達にあいさつはできますか。



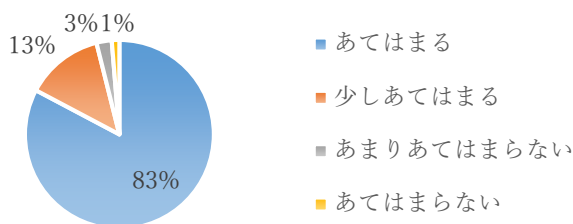
9割を超える児童が先生や友達にあいさつができていると感じています。「あてはまる」「すこしあてはまる」と答えた児童は、全体で2%増えました。これは、運営委員会が行うあいさつ運動などを通して、よりあいさつがあふれる学校を目指した結果が表れていると考えられます。できないと感じている児童に対しても、あいさつの大切さを引き続き伝えていき、自分から積極的にあいさつができるよう指導していきます

学援隊の方や地域の方に  
あいさつはできますか。



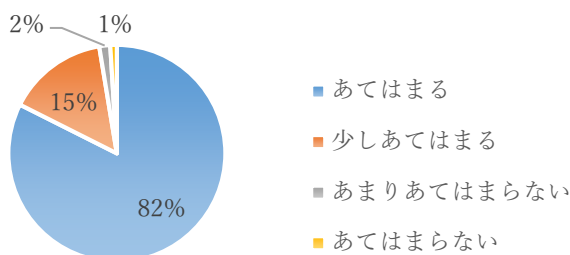
8割近くの児童が、学援隊の方や地域の方にあいさつができていると感じているようです。一方で、できていないと答えた児童には、学援隊の方や地域の方が、自分たちの学校生活に関わってくださっていることを伝え、普段からコミュニケーションの基本としてあいさつが交わせるよう指導をしていきます。

学校で地震や火事があった時  
どうしたらよいか分かりますか。



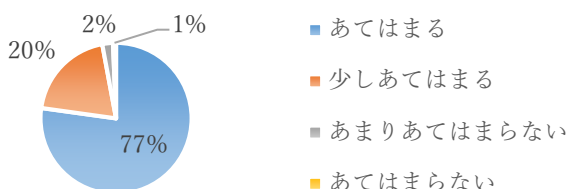
避難訓練の成果が表れ、ほとんどの児童が、災害等が起こったときの対応について理解できているようです。避難訓練を行う意味を知り、児童一人ひとりが避難訓練の大切さを理解していることが伝わってきました。ほとんどの児童が訓練に真剣に取り組んでいます。一方で、4%の児童が「よく分からない」と答えています。命にかかわることなので、避難訓練等を利用して災害時にどのように動けばよいか、今後も引き続き指導していきます。

安全に登下校できていますか。



多くの児童が安全に登下校できているようです。「通路を守ること」や「道路の歩き方」等、低学年において、学校生活の基本のひとつである安全な登下校についてこれからも指導を続けていきます。また、交通安全教室や校外学習等で、道路の歩き方や横断歩道の渡り方など、交通安全についての知識が身につくようにしていきます。

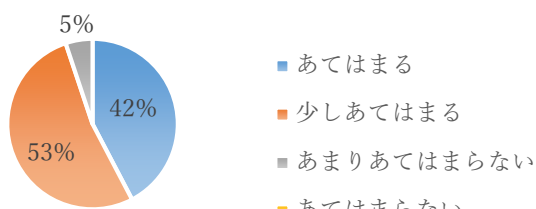
新型コロナウイルスの感染予防のために、  
手洗いやうがいをしっかりと  
することができましたか。



昨年に引き続き、ほとんどの児童が、「手洗いやうがいをしっかりとすることができている」と答えています。手洗い場では、友達との間隔をあけることを意識しながら、しっかりと石けんを泡立てて手洗いをしようとする姿が見られます。今後も、一人ひとりが感染予防の意識を高くもって継続できるよう、取り組んでいきます。

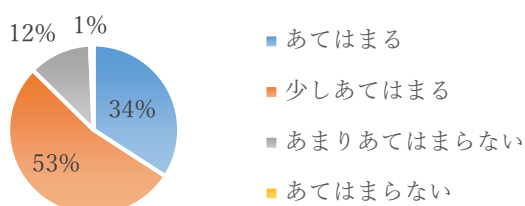
## 高学年（4～6年生）

めあてに向かって、  
学習に取り組みましたか。



9割の児童がめあてをもって学習に取り組むことができたと答えています。どの授業でも、学習問題をはっきりさせたり、めあてを立てたりして、学習を進めてきた成果が表れていると思われます。また、「できない」と感じている1割の児童にも、自ら課題を設定して、学習課題に取り組めるように、引き続き指導していきます。

授業に集中し、  
粘り強く取り組みましたか。



約9割の児童が授業に集中し、粘り強く学習できていると答えています。日頃から安心した環境で学習できていることが伝わります。一方で約1割の児童ができていないと回答しているので、今後も子どもたちが粘り強く学習できるような環境作りに努めていきます。

授業で学習したことを身に付けよう  
と努力しましたか。



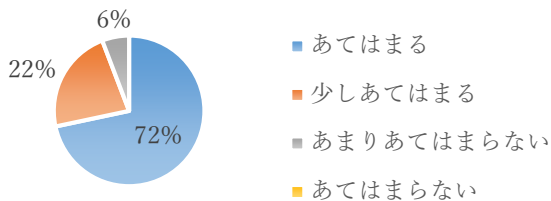
約9割の児童が、授業で学習したことを身に付けようと努力していると答えています。積み重ねてきたことを次の学習などで活かすことができていることからこのような回答につながったと思います。一方でできないと答えた児童に関しては、学習と学習のつながりを意識した授業を実施していこうと思います。

授業の中で、今まで学習したことを使って  
考えたり、友達の考えを聞いて、自分の考  
えを広げたりしましたか。



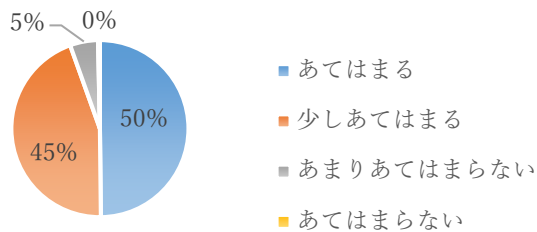
自分の考えを広げるために、今まで学習したことを使って考えたり友達の考えを聞いたりしたと答えた児童が、約8割います。日頃の授業でも話し合い活動を通して、活発に意見を交換し合うなどのことにより、身に付けているように思います。一方で高学年になり、勉強の難しさから、表現しにくくなってしまふことが考えられるので話しやすい授業作りに努めていきます。

タブレット端末を積極的に使い、分からないことを調べたり写真を使って活用するなどして、学習を進めることができましたか。



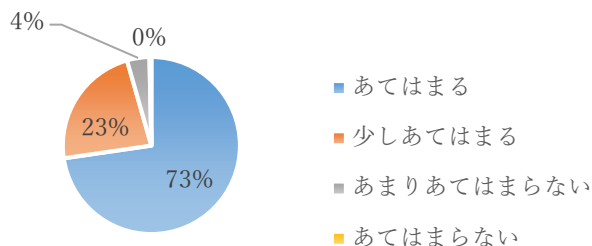
約9割の児童がタブレット端末を使って学習を進めることができたと答えています。分散登校の期間を通して、タブレット端末を使って課題を行うことも増え、多くの児童が抵抗なく使いこなせるようになってきました。引き続き、タブレット端末の正しい使い方も含め指導していきます。

クラスや学校の決まりを守って行動できていますか。



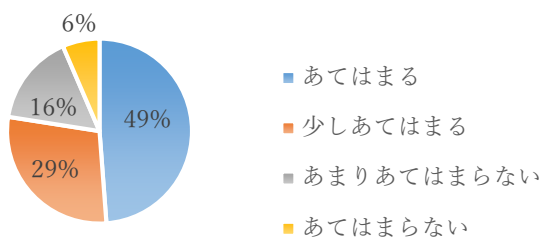
9割の児童が「決まりを守っている」と答えています。きちんと決まりを守るという規範意識が高くなりました。学校では、決まりを守って生活していくことは、自他共に尊重し合う精神が根底にあることを、繰り返し話してきました。道徳の授業でも、決まりを守ることについて学習しています。今後も、決まりを守れるように粘り強く声をかけて指導をしていきます。

ルールを守る大切さを教えてもらったことがありますか。



ここ数年は、「教えてもらったことがある」と答える児童が9割を超えています。朝会で生活目標を確認したり、学級で日常の諸問題を解決したりすることを通して、ルールを守って気持ちよく生活することの大切さについて話しています。「教えてもらったことがない」と答えた児童には、再度ルールを守る大切さを伝えつつ、家庭との連携も図り、規範意識を更に高めていきます。

困ったことがあったら、だれかに相談できていますか。

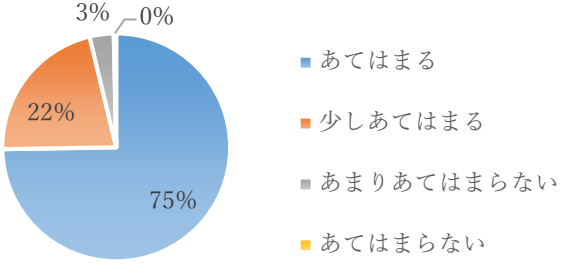
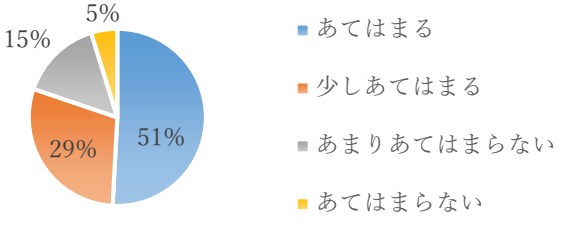

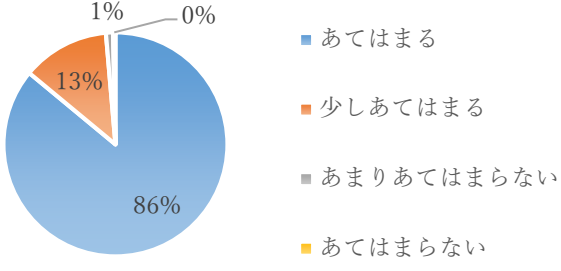
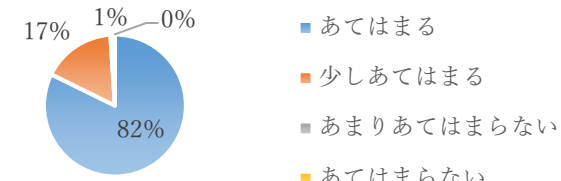


「相談できている」と答えた児童が約8割いました。昨年より1割減っています。高学年になるにつれて人に相談しにくくなる傾向が見られます。児童が相談しやすいように、学年でも連携をとり、学級担任だけではなく、養護教諭など、その他の教員でも相談の窓口があることを知らせていき、全職員で様子を見ていきます。ご家庭でも、子どもたちの様子を見守り声をかけていただけると助かります。

規則正しい生活をしたり、体を動かしたりすることで、自分の健康に気を付けて生活していますか。



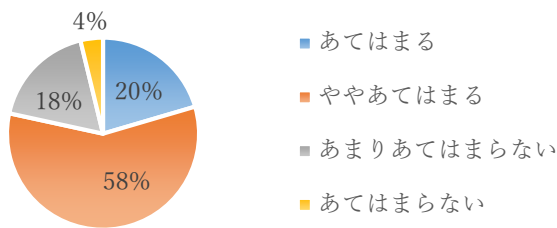
「気をつけて生活している」と答えている児童が、8割以上います。昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染を予防するために、一人ひとりが衛生面に気を付けて生活していることが大きいと思います。また、学校でも保健委員会が手洗い・うがいの呼びかけをしたり、運動委員会が「体力アッププロジェクト」(校庭で他学年となわとびをする活動)を行ったりしています。引き続き、健康を維持するために必要なことを指導していきます。

<p>友達や先生にあいさつできていますか。</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>■ あてはまる</li> <li>■ 少しあてはまる</li> <li>■ あまりあてはまらない</li> <li>■ あてはまらない</li> </ul>	<p>9割以上の児童が先生や友達にあいさつができていると答えました。教師からの声かけや学級での取り組みが、あいさつをしようという意識につながってきていることを感じます。また、運営委員会による取り組みを行うことで、あいさつをすることへの抵抗が減り、自然とあいさつができるようになってきています。引き続き相手に伝わるようなあいさつができるよう、声をかけていきます。</p>
<p>学援隊や地域の方に あいさつができますか。</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>■ あてはまる</li> <li>■ 少しあてはまる</li> <li>■ あまりあてはまらない</li> <li>■ あてはまらない</li> </ul>	<p>8割の児童が「学援隊の方や地域の方にあいさつができている」と答えました。しかし、恥ずかしさからあいさつができなかった児童もいるようです。普段お世話になっているからこそしっかりとあいさつができることが望めます。あいさつ運動の取り組みをきっかけに地域の方へのあいさつも大切にするよう指導していきます。</p>
<p>学校で火事や地震があった時、 どうしていいか分かりますか。</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>■ あてはまる</li> <li>■ 少しあてはまる</li> <li>■ あまりあてはまらない</li> <li>■ あてはまらない</li> </ul>	<p>ほぼ全ての児童が「分かる」と答えました。防災訓練では火の手が上がった場合を想定し、教師の指示に従って、安全に避難できる経路を確認しながら訓練を進めています。毎年、様々なパターンの避難訓練を行います。また、突然災害が起こったときに、どのような行動をするべきか、自分で判断できるように、防災意識を高めています。引き続き地震や火事があった時に、安全な行動ができるように指導を徹底していきます。</p>
<p>安全に登下校できていますか。</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>■ あてはまる</li> <li>■ 少しあてはまる</li> <li>■ あまりあてはまらない</li> <li>■ あてはまらない</li> </ul>	<p>ほぼ全ての児童が「安全に登下校ができている」と答えました。登下校のルートを守りながら、登下校中の安全に気を付けているようです。しかし、友達に誘われることで気が緩み、実際に帰るコースと異なる道を通っているという児童も、まだいるようです。高学年だからこそきちんとルールを守り、低学年の手本となるよう声をかけ、安全に登下校できるように今後も指導し続けていきます。</p>
<p>新型コロナウイルスの感染を予防するために 手洗いうがいをしっかりすることが できましたか。</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>■ あてはまる</li> <li>■ 少しあてはまる</li> <li>■ あまりあてはまらない</li> <li>■ あてはまらない</li> </ul>	<p>ほぼ全員の児童が「手洗い・うがいができた」と答えています。学校での日々の呼びかけだけでなく、保護者の方々がお子さんに声をかけて下さることにより、手洗い・うがいの習慣が身につけているからだと思います。時には、手洗い・うがいを忘れてしまうことがあるようです。いつでも手洗い・うがい・ソーシャルディスタンスを保つことができるように、引き続き、学校でも指導していきます。</p>



# 保護者

子どもたちは、粘り強く学習に取り組んでいますか。



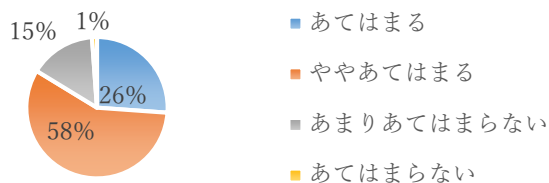
7割以上の方が「粘り強く学習に取り組んでいる」と答えています。学校では、研修等を通して子どもたちが意欲的に学習に参加できる授業づくりに取り組んできました。今後も、子どもたちが粘り強く学習に取り組むことができる環境を整えていきます。一方で、「子どもたちは粘り強く学習に取り組めていない」と感じている方もいます。より子どもたちが集中して学習に取り組むことができるように、さらに授業づくりを工夫していきます。

子どもたちは、学習したことを身につけていますか。



9割近くの方が「子どもたちは、学習したことを身につけている」と答えています。今後も、子どもたちにとって「わかる・できる授業」「楽しい授業」「集中できる授業」を展開し、子どもたちが学習内容を身に着けることができるような授業づくりに努めていきます。

子どもたちは、今まで学習したことを使って考えたり、友達の考えを聞いて自分の考えを広げようとしていますか。



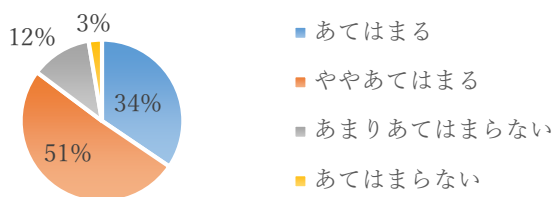
8割の方が「子どもたちは、今まで学習したことを使って考えたり、友達の考えを聞いて自分の考えを広げたりしている」と答えています。より多くの子どもたちが既習事項を用いて新しい課題に取り組んだり、友達の考えから自分の思考の幅を広げたりしていくことができるよう、学習内容や授業展開の工夫をしていきます。

子どもたちは、学校や社会のルールを守って行動できていますか。



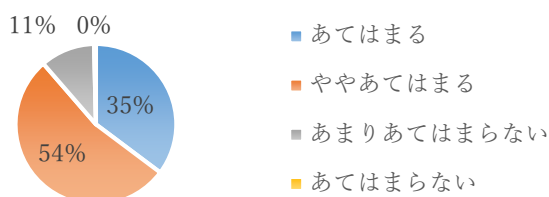
ほとんどの方ができていると答えています。学校では、道徳の授業や日々の生活指導の中で、学校や社会のルールを守ることの大切さを指導してきました。今後も、日々の生活の中で規範意識や人権意識を高めるよう、指導していきます。ご家庭でも、同様に学校の決まりや社会のルールを守ることの大切さについて、ぜひお子さんと話し合ってください。

子どもたちは、タブレット端末を活用して学習に取り組んでいますか。



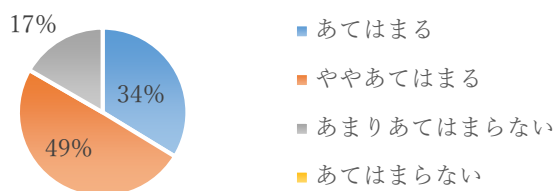
8割以上の方が「タブレット端末を活用して学習に取り組んでいる」と答えています。今年度は夏休み明けに分散登校があり、その際にタブレット端末を活用した学習を進めてきました。これからも学習の中でタブレット端末を用いた「わかる・できる授業」を展開していくとともに、子どもたちがタブレット端末に触れる機会を積極的につくっていきます。

子どもたちは困ったことがあったら、誰かに相談していますか。



9割近くの方が、困ったことがあったら誰かに相談できていると答えています。今後も、日頃から子どもたちとコミュニケーションを多く取り、相談しやすい雰囲気づくりに努めていきます。一方で、「子どもたちは困ったことなどを相談できていない」と感じている方もいます。その原因を見極め、アンケートを実施するなど様々な方策のもと、全職員で子どもたちと関わり、子どもたちが安心して学校に通えるようにしていきます。

子どもたちは、自分の健康に気をつけて過ごしていますか。



8割の方が、子どもたちが健康に気をつけて過ごしていると考えているようです。学校では、感染症等の予防のために手洗いやうがい習慣化するように指導しています。学校保健委員会からの働きかけで、学級ごとに健康目標を決めて生活する取り組みを行ったり、運動委員会による「体力アップ週間」を行ったりしたことで健康への意識が高まりました。子どもたちが健康を意識して生活できるよう今後も指導していきます。

子どもたちは、学援隊の方や地域の方に自分からしっかりとあいさつできていますか。



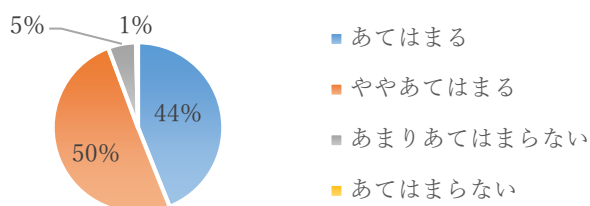
8割の方が「子どもたちは、自分からしっかりとあいさつができています」と答えています。運営委員会による高学年児童を中心としたあいさつ運動の取り組みで、子どもたちの意識が向上しました。しかし、2割の方がしっかりとあいさつができていないと感じているようです。家庭や学校、地域などどのような場であっても、子どもたちが「自分から」あいさつができるように指導をしていきます。

子どもたちは、学校で地震にあった時、どうしたらよいか指導を受けていますか。



ほとんどの方が、「子どもたちは、学校で地震にあった時、どうしたらよいか指導を受けている」と答えています。毎月の訓練の成果だと思われます。今後も、児童一人ひとりが避難訓練の大切さを理解して真剣に取り組み、自らの命を守る力がつくように指導していきます。

子どもたちは、安全に登下校できていますか。



ほとんどの方が、子どもたちが安全に登下校できていると評価しています。学援隊の方をはじめ、地域の方や保護者の方々が日頃から子どもたちを見守ってくださっているおかげです。子どもたち自身も交通安全教室で学んだことなどを生かして安全に登下校できるように、引き続き指導していきます。

あひる班活動・一句の日等は、本校の特色が表れた活動になっていますか。



本校の特色としてあひる班活動や一句の日などが位置づき、ほとんどの方がこれらの活動が特色の表れた活動になっていると答えています。あひる班活動では、異学年で交流することにより、社会性や思いやりの心が育っています。あひる集会では、6年生を中心に、低学年に一生懸命声をかける姿を見ることができました。鶴ヶ峯小学校の特色ある教育活動として、より一層内容が充実するよう努めていきます。

体験的な活動や校外学習を多く取り入れ、学習の充実に努めてまいりました。これらの活動は子どもたちにとって有意義な教育活動になっていましたか。



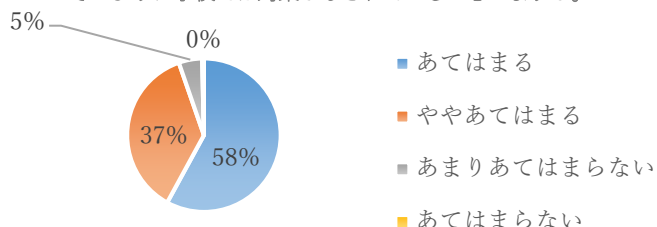
今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス対策のため、制限のある中での体験学習となりました。しかし、ほとんどの保護者の方が、体験的な活動や校外学習が子どもたちの豊かな体験活動となっていると考えています。今後も新型コロナウイルス感染予防に配慮しながら、出前授業や生活科、総合的な学習の時間などを中心とした体験的な活動や校外学習の内容の充実を図っていきます。

学校だより、学年だより、学校ホームページ、メール配信を通して、学校の様子がきちんと伝えられていますか。



8割以上の方が「学校の様子が伝えられている」と答えています。学校だよりや学年だよりでは連絡事項だけでなく、子どもたちの様子をお知らせしてしてきました。緊急時の連絡や体験学習などの際にはメール配信も活用し、今後も個人情報に配慮して配信していきます。

新型コロナウイルス感染予防のために、学校では、子どもたちに手洗い、うがい等をするように声をかけたり、密にならないよう対策を行ったりしています。そのように学校では対策がなされていると思いますか。



9割以上の方が、「学校では、新型コロナウイルス感染予防の対策がなされている」と答えています。毎日の検温やマスク着用が定着しているのも、保護者の皆様のご協力のおかげです。子どもたちが進んで手洗いやうがいをしたり、密にならないように心がけたりして生活する様子も見られます。教室の換気・消毒、面談の時間短縮等、今後も新型コロナウイルス感染予防の対策を継続し、子どもたちが安全に、安心して過ごせる環境づくりに努めていきたいと考えています。

